



高木仁三郎市民科学基金 事務局スタッフ募集のお知らせ

応募期限 2012年7月15日
勤務開始 2012年9月以降
(詳細は相談に応じます)

高木仁三郎市民科学基金(高木基金)は、核や原子力に象徴される現代の科学技術の問題性について、在野の立場から批判的に研究し、2000年に亡くなった高木仁三郎の遺志によって設立され、仁三郎の遺産と、基金の主旨に賛同する一般の方からの会費・寄付を財源として、「市民科学」を志す市民やグループの調査研究・研修を助成しています。現代の科学技術がもたらす問題等について、行政や企業の利害から独立した立場から、市民社会に必要とされる情報や分析を提供することが、高木基金の目指す「市民科学」の役割です。

昨年3月11日の東日本大震災によって発生した福島原発事故は、まさに高木仁三郎が懸念していたものであり、避けなければならないものでした。高木基金としては、いまこそ「市民科学」の真価が問われるときであり、高木基金としても、従来からの活動をさらに強化し、積極的にすすめていきたいと考え、事務局スタッフを増員することとしました。

私たちが直面している課題は原発問題にとどまらず、簡単に答えが見つかるようなものではありませんが、あきらめではなく、未来への希望を力として、積極的に高木基金の活動に参加して下さる方からの応募を期待しております。

募集職種	A: 助成事業のアシスタント・プログラムオフィサー	B: 市民放射能測定支援事業のプログラムコーディネーター
雇用形態	契約職員	契約職員
募集人数	1名	1名
契約期間	1年(3ヶ月は試用期間、契約期間終了後の継続雇用の可能性あり)	1年(3ヶ月は試用期間、契約期間終了後の継続雇用の可能性あり)
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 高木基金の助成事業(国内およびアジアを対象)におけるプログラムオフィサーの補佐 広報(高木基金のニュースレター、出版物、ウェブサイト、SNSなど) 事務局業務全般(支援者対応、会計処理、資金調達等) 	<ul style="list-style-type: none"> 各地で市民グループが取り組む放射能測定活動のコーディネート、交流会などの企画・運営 放射能測定結果データの収集・分析および報告書等の編集 データベースやウェブサイトの構築、メンテナンス
応募条件	将来的にプログラム・オフィサーを目指す方を希望します。広報にかかわる実務経験のある方を歓迎します。	原子力および放射能に関わる知識や経験のある方を優遇します。
(A・B共通)	<ul style="list-style-type: none"> 高木基金の理念に賛同し、業務を意欲的に遂行する意思のある方 25歳~40歳程度、学歴は問いません ポストドクター等で在籍中の方も相談に応じます 企業・行政機関・NPOなどでの実践経験3年以上 パソコン操作(ワード、エクセル)ができること 社会的な課題にかかわるNPOや市民運動団体などでの活動経験優遇 英文の基礎的な読解力があること(英会話・文書作成能力があればなおよい) 	
勤務条件		
・勤務地	東京都新宿区	遠隔地に居住しながらの勤務も応談
・勤務時間	原則として月~金曜日の10:00~17:00の時間内で月間100時間程度。ただし週末の会議・イベント等での勤務もあり。	月間50時間以上の作業時間を確保できる方。週末の会議・イベント等での勤務もあり。
・待遇	時給1,500円以上(交通費別途支給)	時給1,500円以上(交通費別途支給)
・社保等	法定の社会保険が適用されます。	法定の社会保険が適用されます。
応募・選考方法	1)履歴書、2)志望動機についてのレポート(2千字以内)、3)これまでに執筆した論文やレポート、雑誌への投稿記事等の3点を7月15日(消印有効)までに郵送で提出して下さい。書類選考の上、高木基金の理事による面接を行います。	

プログラムオフィサーとは、市民活動等への助成を行う基金等における専門的な職能であり、有望な助成先の発掘、助成申込みへの対応、選考に関わる業務を担当するとともに、助成期間を通じて、継続的に助成先をサポートすることで、助成の成果を高める役割を担うものです。

【応募・問合せ】

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-21 戸田ビル4階
TEL・FAX 03-3358-7064 E-mail info@takagifund.org